

2022.10.23. 苦しみがなすもの

第一ペテロ 4章 1～6節

JD ファラグ牧師

今日の聖書箇所は、「第一ペテロの手紙 4章 1節から 6節」です。可能な方はご起立くださって、私の聖書朗読についてきて下さい。無理な方は、着席したままで結構です。ペテロは聖霊に導かれ書いています。1節、

—I ペテロ 4:1—

キリストは肉において苦しみを受けられたのですから、あなたがたも同じ心構えで自分自身を武装しなさい。肉において苦しみを受けた人は、罪との関わりを断っているのです。

—I ペテロ 4:2—

それは、あなたがたが地上での残された時を、もはや人間の欲望にではなく、神のみこころに生きるようになるためです。

—I ペテロ 4:3—

あなたがたは異邦人たちがしたいと思っていることを行い、好色、欲望、泥酔、遊興、宴会騒ぎ、律法に反する偶像礼拝などにふけりましたが、それは過ぎ去った時で十分です。

—I ペテロ 4:4—

異邦人たちは、あなたがたと一緒に、度を越した同じ放蕩に走らないので不審に思い、中傷しますが、

—I ペテロ 4:5—

彼らは、生きている者と死んだ者をさばこうとしておられる方に対して、申し開きをすることになります。

—I ペテロ 4:6—

このさばきがあるために、死んだ人々にも生前、福音が宣べ伝えられていたのです。彼らが肉においては人間としてさばきを受けても、霊においては神によって生きるためでした。

祈りましょう。よろしければご一緒をお願いします。

天の父なる神様、今朝、私たちに与えられたこの御言葉箇所を感謝します。

主よ、改めて聖霊が私たちの教師であり導き手でなければ、あなたが私たちに見せられたい物が何であれ理解できず、あなたが私たちに語られたいことが何かを聞くことができません。私たちの心は迷い、気が散ってしまいます。敵は、何よりそうなるのを望んでいます。主よ、あなただけが御出来になられる通り、唯一それが御出来になる聖霊によって私たちの注意を引き、保って下さい。主よ、私たちの心を静め、私たちの関心を引くため競い合う世の雑音、日々の忙しさから清めてください。主よ、あなたの御言葉の中で共に過ごすこの時間、今日、私たちが聞きたい唯一の声は、聖霊の静かな小さな御声です。主よ、お語りください。あなたのしもべたちは、聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。着席ください。ありがとうございます。では、今日は、「苦しみ」について話したいと思います。イエーイ！ —(笑)—

”Soon and Very Soon (まもなく、もうまもなく♪)”の賛美の直後、すごい話だとは思いませんか？

喜びを、台無しにするみたいですね。でも実は、いい方法で、本当に辛い思いをしている人たちが励まされるよう望みます。今日の御言葉は、そのためのものです。具体的に、神が私たちの人生で、苦難を困難を許す必要があると見なされる時、苦しみを通して何がなされるかに関連します。神は、理由があつてそ

うされます。それはいつも私たちの益になり、神のご栄光のためです。神は、苦しみや困難や苦難を許されることで、多くのことを成し遂げようとされています。理解すべき重要なのは、おそらく毎週話しますが、使徒ペテロは、迫害され、極度の苦しみに耐えている人々宛てに書いています。彼らの多くは、恐ろしい、言いようのない方法で殺されています。この人々に向けて、聖霊に鼓舞されたペテロが書いていて、そのため、ペテロは彼らを励まし、希望と力を与えようとしています。こう思い出させるためです。

「みんな、それを通して良くなります。今はそうは思えないでしょうが、今はとても辛いでしょうが、神は何かをなさっておられるのです。あなたは、まだそれを見ていないかもしれませんが、しかし、信仰によって知ってください。この苦しみをあなたの人生に許すことで、神は、壮大で輝かしいことを成し遂げ、もたらされることを。この箇所いくつかの理由のうち、最初のから見ていきたいと思います。1節、

「苦しみが私を霊的に武装させる」さて、この「武装する」という言葉ですが、このような、引き金的単語を使うのは、こんにちには注意しなければなりません、聖霊はペテロにこの単語を使うよう促されました。彼はそれを使って、キリストの苦しみと私たちの苦しみを結びつけています。興味深いのは、ペテロがこのように、具体的に書いていることに注目してください。

「キリストが苦まれたのと同じように、あなたがたも同じ（キーワード→）心構えをしなさい。」

おっお〜。それは、私が苦しんでいる時の心構えが悪いということですか？ いいえ。もちろん、そうです。ー(笑)ー

「その苦しみの中で、キリストと同じ心構えで武装しなさい。」言い換えれば、使徒パウロが「ピリピ人への手紙3章10節」で語るように、私たちがキリストの苦しみと交わると、それが、よく引用するあの有名な章を思い起こし、使徒パウロが、エペソの教会宛に書いた同じ姿勢で、私たちを堅固にし、備え、武装させる必要な効果があります。悲しいことに、この霊的な武具に関する「エペソ人への手紙6章」が時に、誤引用されることがあります。思考を守るかぶとの比喩が”救い”なのは興味深いと思いませんか？ ふむ。。。ふむ。。。と言わせますよね。違います？ いつも私は、ふむ。。。です。ふむ。。。救いのかぶと。特に炎のような試練の中で、自分の救いに対する疑念から思考を守るため。痛みや苦しみ、苦難や困難中にいると、自分の思考の中に入れるものには本当に気をつけなければなりません。そこが戦場です。救いのかぶとが必要です。間違わないでください。敵はそこにいます。敵は、私たちの心を読めませんが、私たちの思考に疑いの種は植えられます。彼は毎日、一日中、何千回もそこにいて、準備しています。わお〜疑いの種を植える。そして心構えが変わってしまう。

「箴言 23:7」に、「人は、心のうちでは勘定ずくだから」というのがありますよね。「ピリピ人への手紙4章」、使徒パウロは聖霊によって、基本的にこう言います。『あなたは自分が考えている通りの人です。あなたが恐怖で満たされ、心配だらけなのは、誤ったことを考えているからです。』ですから、何も思い煩わないで、すべてを神に感謝し、あらゆることを祈れば、人知を超えた神の平安が、キリスト・イエスにあって、あなたの思考と心を守ってくれます。(ピリピ 4:5-7 参照)

そしてパウロは8節で続けて、その代わりに考えるべきことを、すべて挙げています。私たちの時代では、「態度を正す必要がある」と言います。あの大きな木槌を見たことがありますか？「態度を改めろ」と書いてあるんです。あなたは心構えを変える必要がある。ではどうやって態度を改め、キリストと同じ心構えで武装すればいいのか？ 私たちが考える必要があるのは、「すべて清い、良い評判、尊ぶべきもの。」これらのことを考えなさい。人は心の中で考える通りの人だから。そう、敵につけ入る隙を与え、疑いの種を植え始められると、炎の試練の中にいる時、敵はあなたが許す限りその道に連れて行くでし

よう。それは果てしなく続きます。心構えを忘れるのにそうはかかりません。とっくに悪い態度です。つまり、あなたは心配する限り、もう救われてもいない。「神は気にとめておられない。神は私を愛していないし、私に怒っている。」「教会に行く気にならない。」「聖書を読まないし、祈るつもりもない。」私は災いだ～。♪誰も知らない♪

あなたが許すなら、敵はそこへ連れて行きますよ。敵は、そう、あのレストランで席を予約しています。敵は、あなたの返事を待っているんです。私たちは武装する必要があります。私たちは、守らなければなりません。正にその試練の中こそ、守りと武装が必要だと思いませんか？ つまり、そういう仕組みです。そうでなければいいんですけどね。そうでなかったらいいのですが、祈りは「何を祈るのか気をつけて」と言いますよね？ ええ、忍耐を祈ることがその事例です。忍耐を祈るとき、十分に注意してください。「主よ、私には忍耐が必要です。」「お～、忍耐が必要な？ よっしゃ～。ゲーム開始！ 忍耐力だね？」「私は忍耐力が必要です。」「よろしい。」「主よ、どのようにして私に忍耐力を与えてくださるのですか？」「試練を与えることでだよ。」「いいえ、私はそんなこと頼んでません。試練をくださいとは言ってません。私は忍耐力が欲しいのです。」しかし、神は言われます。「まず試練を与えなければ、わたしは忍耐力を与えられません。なぜなら、試練を通して、苦しみを通して、その試練を乗り越える必要な忍耐力が備わるからです。」

そういう仕組みです。真実ではありませんか？ 試練を乗り越えたとき、その試練を振り返ってみると、最初に思うのは、「はあ～はあ～、わお～！ 信じられない。神がそれを乗り越えさせて下さった！」すると神は、「本当に？ わたしがしたのですよ。」昨日、昼食会の後、ある姉妹と話をしました。“不信仰について”です。

「主よ、私は信じます。でも私の不信仰を助けてください。」神は私たちが考え、想像した以上に、はるかに豊かに、祈りに答えてくださり、私たちは、ただただそれに圧倒されます。すると、私たちはどうします？ 私たちは未だ信じられず、まだ奇跡の向こう側にいて、「信じられません。」

「ちょっと待って。あなたは信じられなかった。わたしが成し得ると信じなかった。それでわたしがして、まだ信じないの？ じゃあわたしは、どうすればいいの？」

「分かりません。」しかし、違いますか？ 非常に困難な試練の末端にいと、それを軽く見るつもりはありませんが、ユーモアは薬になりますよね？ 笑い(心の楽しみ)は良い薬です。(箴言 17:22 参照)でもその試練を経験し、乗り越え、その試練振り返って考えてみると、二度と経験したくはないでしょうけど、その試練を通して神があなたになさった事は、決して何のものにも替え難いはずです。

「お～なんということでしょう、主よ、感謝します。」ほとんどこんな感じです。(たどたどしく)「ありがとうございます。二度としないでください。ただそのことをあなたに感謝します。私は大丈夫です、私は武装しているし、準備はできてしっかりしています。ありがとうございます。もう私は大丈夫です。もう二度と忍耐を祈りません。」しかし、それが私を武装させます。そして2つ目は、2節、それが私を変えます。「私の生き方が変わる」言うまでもないことですが、苦しみの杯を味わうことは、私の生き方に深く大きな影響を与えます。ダビデを思い出します。ダビデは、あの有名な「詩篇 119 篇」の中で二度言います。67 節と 73 節です。(節は)間違っているかもしれませんが、彼は基本的に同じことを違う方法で語ります。ダビデは、こう言っています。「苦しみにあったことは私にとって幸せでした。」(71 節)本当に？ 「神が、私を苦しめられて良かったのです。なぜなら、主が私を苦しめられなければ、私は迷い出ていたから。(67 節)主が、私を連れ戻して下さいました。神が私を苦しめる前、私は迷い出ていまし

た。後退していました。神は、私に苦難を、苦しみをもたらされました。それがすべてを変えました。」そして、ダビデは言います。「しかし今はあなたのみことばを守ります。」私は主の御言葉に、戻りました。苦しみとはそういうものですよね。その試練が襲うと、というか、そう、試練前に巻き戻してみましよう。試練前です。試練前。あなたは上手くやっています。あなたの祈りの生活にもそれが表れます。あなたの祈りは、こんなふうに聞こえます。

「主よ、ありがとうございますこれを祝福してください。あれを祝福してください。彼らを祝福してください。イエスの御名において、アーメン。」

で、おしまい。それが試練前です。そして、逆境が襲います。あなたの祈りは、今までとは少し異なり、かなり変わります。今はこんな感じです。「お～！！神様～～～！お～！！イエスよ、イエスよ。」

神は仰います。「やっと、あなたの注意を引きましたね。」「はい～！！神よ～～！！」「ではあなたの注意を引いたので、少し変えねばならないことがあります。わたしは簡単な方を試してみたんですよ。でもあなたは苦勞して学ばねばなりません。その傷跡も残るでしょう。」

私自身に言っています。皆さんは、私より靈的ですから。しかし、私たちが、苦勞して学ばなければならないことは何でしょうか？ それが必要なら、神はそれを許され、それがどんなに困難であってもあなたは神に感謝するでしょう。しかし、ここで苦惱がやってきます。逆境に襲われます。

「伝道者の書 7 章 14 節」です。緩く言ってみます。聖霊によってソロモンが言います。「順境の日には幸いを味わい、」「しかし」—この単語は好きではありません—「逆境の日（時）には」—この単語は更に好きではありません。「もし」と書いてあればいいのに—「逆境に見舞われたとき、、、」お、ちょっと待って。「順境の日」に戻ってもいいですか？ 順境が好きなんです。逆境は嫌です。逆境が襲う前、もう少し順境に浸っていてもいいのでは？」「だめです。」「逆境の日には よく考えよ。」

神は仰います。「今、わたしはあなたの注意を引きました。」このことをよく考えてみてください。神は、逆境と一緒に順境も許されるので、私たちは、自分の先のことについては何も見つけられません。言い換えれば、私たちは、何もコントロールできません。神がなさいます。

「あなたは、バタバタして、この世の自分の人生や、すべての心配事や事柄に忙しいです。あなたは、わたしのことを忘れてしまっています。わたしは寂しいです。しばらく、話していないしね。」

なんか、お金に困ってる大学生の親みたいですよ。電話がかかってくるのは、お金が必要なときだけ。主と、そんな感じじゃないですか？ 呼び求めるのは、何か必要な時だけ。「お～久しぶりにあなたの声を聞きましたね。試練を送ると連絡してくれますね。お～声が聞けてよかった。長らく連絡なかったね。長らく話してなかったね。」逆境に襲われると、私たちが、このような、ずっとこのままだという思い込みだけで人生を送ることがないように。神は、順境の次の日に、逆境を送ることが御出来になります。神がそうされるとき、私たちは神に目を向けねばなりません。私たちは、神を呼び求めねばなりません。神に依り頼まねばなりません。以前にも話したことがあります、繁栄（順境）は、逆境よりも危険であると、疑いなく私は確信します。なぜなら、繁栄は靈的な眠りへの子守唄だからです。物事がうまくいっているとき、さあ、皆さん正直になりましようよ。物事がうまくいっているとき、

「そうそう、主を褒めたたえよう。良いよね～。私は大丈夫～。あなたは大丈夫？」

「私はそうでもないが、あなたはどうかやうそみたいなですね。」しかし、逆境が襲うと、今や、膝を屈め、祈りに戻る。今や、御言葉の中に戻る。今、私は戻る。神の御言葉で、何度も何度も読んだことのある節がありますよね？ でも試練の時、寝る前に聖霊が来られ聖書を取りアプリでもかまいませんよ。御

言葉の中にあなたの名前を入れられます。朝早く目が覚めて、起きて主に求めると、あなたが御言葉の中にいる！「ひ～！！」御言葉は生きている！ なぜなら、御言葉は生きておられ活発で、どんな両刃の剣よりも鋭いからです。今まで何度も読んできたはずなのに、今、お～……ふ～…… また改めて、詩篇 119 篇。神の御言葉がすべてです。神が、あなたに、直接語りかけておられます。神の御言葉の教えの下に座っているときでさえもです。そう、物事がうまくいっているときって、

「いやまあ、私は、あの教えからは満たされなかったよ。」もちろん、毎週よくあるでしょうが。でもカポノを話に取り上げましょう。

「なあ、今日の賛美って、なんかあんまり、、、」 Soon and Very Soon (まもなく、もうまもなく♪) は除外です。あれは……一日中歌い続けますよ。

「そうそう、私はあんまり、その～気持ちが乗らなかったんだ。」「気が乗らなかった？ 来週来たときは試練が襲っていて…」 こうなります。(両手を高く上げ) ♪ Soon and Very Soon (まもなく、もうまもなく♪) ♪

それから、私がここに現れ、私の顔を見て、私が話していると、あなたはガン見して夢中です。

「何があったんですか？」「ええ、試練が襲ってきたんです。」「何が変わったのですか？」「逆境に見舞われたのです。」苦難です。苦しみです。

「主よ、ありがとうございます。私はそれを望んでいたのではありません。しかし、必要でした。」

「ありがとうございます。私は戻ってきました。」

3つ目。これは興味深いです。「苦しみや苦悩は、時間の使い方の優先順位を変える」

これは色々な意味で興味深いのですが、特に、聖霊に導かれたペテロが言います。「以前のように時間を無駄にしないで。」あまり気分の良いリストではありませんよね。もう読みませんから、楽にしてください。そのリストを見てください。あなたがキリストのもとに来る前、リストにあるすべてのこと、さらに、リストにない他の多くのことをも、すべてしたことを考えてください。そのために費やした時間、無駄にした時間を取り戻せるなら、それは素晴らしいですよ。痛みと苦しみとはそういうものですよ？ 痛みと苦しみは、本当に大切なものを前面に押し出します。なぜなら、それが意味、あなたをリセットし、再起動し、再校正するからです。この違いは、長年に渡って聞いてきたでしょうが、非常によく言ったもので、緊急なことと、重要なことは違う。そして、緊急なことが、重要なことを見えなくする事がよくあります。あなたはバタバタ走り回って、すべての火を消します。それが終わる頃には、「はあ～はあ～」あなたはとても疲れます。疲労困憊です。おめでとうございます。敵は、あなたに望んだとおりのことをやってのけました。「あれもこれもやらせろ。」それは重要なことですか？「いや、でも緊急だ！！」昔を思い出します。昔々、遠い遠い土地での話です。受付が、伝言を書き留め、若い方たち、また話は戻りますから、ちょっとお時間下さいね。受付の人は、ピンクの伝言メモを持っていて、ペンと呼ぶものを使って、一(笑)一 誰からの電話か、折り返す電話番号、時間、日付を書いていました。そして、その下にメッセージが書ける小さなブランクがありました。でも、私の記憶が正しければ、そこに「緊急」というチェック欄がありました。それが一番上に置かれます。そんな伝言の山積みがあったんです。あなたはその山を見て、思います。私は価値ある人だ！(笑い)しかし、この伝言の山の、どれが重要か優先順位をつけなければなりません。その一つは、ハイライトされ、チェックされ、読まれ、スタンプ押され、「緊急、緊急、緊急！」となっています。でも、こっちにあるのはどうなの？ それが大事なんです。ええ、そっちは緊急かもしれません。でも言わせて頂くと、敵は、緊急事態を作ることに長けていて、私たちが

重要なことから遠ざけます。この問題に関して、私たちは皆、自分の時間の使い方について自問自答した方がいいと思います。私のしていることは、永遠という観点から見て、どのような意味があるのか？

ある人が的確に言ったように、「人生はすぐに過ぎ去り、キリストのためにしたことだけが残る。」使徒パウロだっと思いますが、私の記憶違いでなければ、「第一コリント人への手紙3章」で、彼はこう言いました。火は、すべてを焼き尽くします。いくつかの山があり、一つの山はすべての....、それが大きな山になります。肉において行われたすべての行いは、木、草、藁である。私のは、木、草、藁の大きな山でしょう。皆さんもですよ。自分の方がもっと霊的だとは思わないでください。ー(笑)ー

それらは燃え、消えてしまいます。また別の山があり、金と銀と宝石の山です。木、草、藁を、塵に変える同じ火が、その金や銀や宝石を、さらに価値のあるものにします。私は、何の山を積み上げているのか？ 私は、何に時間を使っているのか？ 私は、時間を無駄にしているのか？ 次に進む前に、もう一つ、年とられ、この世で最後の息をし、主の御前で永遠の命の最初の息をする方に立ち会うことは大変なことですが、牧師として本当に特権なこと。そうすると、大事なものとそうでないものの優先順位が決まるのです。金を稼ぐために会社で働く時間をもっと増やせばよかった、と後悔している人の死に際には、まだ立ち会ったことはありませんが、逆に、悲しいことに、もっと重要なことに人生を費せばよかったと本当に深く後悔している多くの方の死に際に立ち会ったことはあります。なぜなら、彼らはこれから、永遠の世界に入ろうとしているからです。そして、永遠の世界に入れば、他のことはすべて、どうでもよくなる。どうでもいいことなのです。

数週間前の「聖書預言・アップデート」で、これは聖霊の導きだと思うので、繰り返します。「マタイの福音書24章」で、イエスが、弟子たちの質問「あなたの来臨と時代の終わりのしるしは何ですか」に答えておられますよね。イエスは、まず最初に言われます。「人に惑わされないように気をつけなさい。」

「わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします。」そして、最初にそう仰った後に仰るのが、「戦争や戦争のうわさを聞き、民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで、飢饉や疫病、地震が起こります。」大地震です。そして、そのリストすべてを、より頻度と強度が増し加わる、産みの苦しみに例えておられます。

数週間前の「聖書預言・アップデート」で、私の心に響いたのが、このリストの中で、唯一永遠なのが、惑わしです。このリストにある他のものはすべて、一時的なものです。

地震。飢饉。国は国に敵対して立ち上がる。国と国の戦い。疫病。そのリストの中で唯一、永遠への影響を持つのが「惑わし」です。

なぜか？ それはあなたの命ではなく、永遠のいのちを犠牲にする可能性があるからです。それだけ深刻です。自分が永遠と書かれた扉の所にいると時間に対する考え方が変わりますね。ある人の言い方が好きです。

「神は時間のために人間を創られたのではなく、永遠のために創られたのです。」

主は私たちを永遠のために創られました。

ではこの4つ目、ちょっと楽しんでみましょう。私たちはそれぞれ違いますよね？ そう、それぞれちょっと違うんです。ええ、それは苦しみがすることでそれが私を違うものにします。ここで一読ではなかなか分からないのが、ペテロが「変わると変に見られる」というところです。つまり、彼らは困惑し、呆然とし、「なぜあなたは、もう自分たちと一緒に宴会騒ぎをしないのか？」という感じです。「ええ私は、もうそんなことで時間を無駄にするつもりはありません。私はキリストによって新しく創造され、古い

ものは過ぎ去りました。それに、そういうことをしたくなくなりました。神は、私の心に神の望みを置いてくださいました。聖霊が今、私の中におられます。自分がしたくなくなるなんて、百万年前から思ってもみませんでした。」私は、40年前に救われた時、聖書を持っていませんでした。私が救われたのは、ベッドに入り、祈りながら寝落ちし、翌朝、目が覚めると、自分が新しくなって、何かが変わったと思いました。私は変わっていました。ルームメイトが、「どうしたんだ？君は全然違うよ。」「知ってるよ。」私はまだこのことを理解していません。なぜなら、自慢できることではありませんが、アルコール・タバコ・ドラッグと伴う全てで一日を始めねばならなかったからです。それに手を伸ばそうとしたら、私の中の聖霊が仰いました。「あなたにそれはもう必要ありません。」私は「必要ないのですか？」です。私は変わっていました。ルームメイトは...ええ、私を追い出しました。私は別のアパートに引っ越すまで、殆どホームレス状態でした。彼らはそれを理解することができず、彼らはまるで、その一人が母親に尋ねたのを覚えています。「彼に何があったの？」母親は言いました。「ああ、彼が経験しているのは信仰よ。」40年経った今、私はそれが信仰だったとは思っていません。—(笑)—

当時、ルームメイトが2人いました。1人のルームメイトが、15年後、私に電話をかけてきました。彼の救いのため、2人の救いのため、私は祈り続けていました。彼が電話してきたんです。彼は言いました。「私は自分の人生をキリストに捧げた。」敬虔で愛に溢れたキリストにある兄弟として私の応答は、「お～主をほめたたえます。」というよりも、怒るような感じでした。

「おい、なぜそんなに時間がかかったんだ？ 15年って、マジかよ？」で、ガチャンと電話を置きました。ええ、うまくいきませんでしたね。—(笑)— 無駄な時間が多いのです。ここからが要点です。一緒に考えてください。ですから彼らは今、困惑しています。あなたが変わったから。大変不思議です。以前のあなたは宴会騒ぎの中心だったのに、今や雰囲気をおち壊す人。そう言うのかどうか、知りませんが。あなたはもう宴会騒ぎしません。そして、ペテロが注意を促すのは、彼らがあなたに敵対し、あなたに対して暴言を吐くようになる事です。なぜそうなるのか、分かりますか？ 彼らが罪を示されているからです。今、彼らは罪を示されています。それってこういうものではありません。

「わあ、君は改めたんだね。僕もそうならなくっちゃ。」あなたが行動を改められません。シャワーを浴びる前にお風呂に入るようなバカな話です。いいえ、主があなたを内外から清められます。再生と聖霊の御力を与えてくださいます。ですから、でも、あなたは綺麗に清められ、輝いています。清くて純粋で輝かしいものは、何をもたらずのでしょうか？ 汚れたもの、暗いもの、邪悪なものとの対比を如実に露わにします。ちなみに、こうも言えるかもしれません。あなたが彼らを悪者に見せる。今やあなたが変わったから。では、彼らの反応はどうなるのか？ ええ、彼らはあなたを切り捨てます。あなたを見下します。そう、自分たちを持ち上げ続けねばならないからです。それで彼らは何をするのか？ あなたを中傷します。私がキリストのもとに来た時のことを思い出します。個人的な例を挙げるのをお許しください。皆さんの例は使いませんよ。もちろん、許可なしにはできませんから。ですから、自分のことを話します。つまり、残酷でした。ええ、私は宴会騒ぎの中心人物でしたから。想像してみてください。とても楽しかったんですよ。それを考えると、ゾッとします。そんなことは考えたくありません。私は清いものについてを考えないと。覚えてます？ しかし、彼らは私に敵対し、、、それは良いことでした。なぜなら、

**「光と闇に何の交わりがあるでしょう。」(II コリント 6:14)**

でも、本当に辛いのは、それが自分の家族である場合です。あなたがキリストのもとに来ると、彼らは「一体どうしたんだ？」となります。そして、家族があなたに敵対する。これは良い事です。不健全な関



係を断ち切るための神のご方法です光と闇は何の交わりもないからです。そして、主は新しい友情や人間関係、キリストにある兄弟姉妹との交わりをもたらししてください。今やあなたは違います。ここでもう1つ、最後の1つに移る前に指摘しておきたいことがありますこの最後の1つは大物ですよ。でも、それは私たちがどれだけ違うかを見ている人たちと関係があります。私たちがこのような変化を経験し、苦しみの中にいるのを見たとき、彼らは私たちをととてもよく見えています。ルームメイトではないある人、一緒に宴会騒ぎをした別の親しい友人が、彼はただ見ていて待っているようでした。私がそこから戻って、また宴会騒ぎを始めるのを。彼は実際、私を誘惑し、それを促進しようとしてしました。ある日、私のアパートの扉をノックする音がして、彼でした。「ああ、やあ、元気？」彼は「やあ〜！」彼がくれたのが、当時はこう呼んでました。古臭い言い方ですが、"ジョイント（巻いた大麻）とか"マリファナ "ー(笑)ーはい、滑ると思いましたよ。ー(笑)ー 彼は言います。「ほら〜どう？」私は言いました。「僕に近づけるな。下がれサタン！」私にはそんな欲はありません。私は彼を部屋に入れました。ただ、彼と主を分かち合おうとしたのです。そして私が拒否したため、彼は私の知らないうちに、キッチンの引き出しにそれを忍ばせました。それで彼は帰って行き、私は台所にいます。引き出しを開けるとそこにあります。「ひ〜！！」それで、どうしようかと思って、トイレに流しました。彼はフォローアップ電話をかけてきました。「なあ、僕が残したプレゼントを見た？」「ああ、ちゃんと見たよ。」「それでどうしたんだい？」「トイレに流したよ。イエスの御名によって。」ー(笑)ー

で、何が興味深いかというと、その後、彼はもう二度と、私を煩わせることはありませんでした。ええ、また一人失ったんですが。何が言いたいかというと、私が言いたいのは、彼らはその違いに気づいているということ。聞いてください。彼らは、それが本物なのを望んでいます。その試み、彼は心の底では、私にそれをして欲しくないのです。彼は私の人生の違いが本物かどうか試したかったのです。彼が、それが本物だと分かると、世は私たち教会を見えています。世は、私たちの人生を生きた書簡として読んでいます。彼らは何を読んでいるのでしょうか？ 彼らは何を読んでいるのでしょうか？ さて、最悪のを最後まで取っておきました。5節から6節です。

「苦しみが私を裁きから救う」

これは、実は「聖書預言・アップデート」で話した「永遠への現実性と切迫性」に通じます。思うに、私も同じような傾向があります。しかし、私たちは携挙について話し、聖書預言について話し、聖書の中の全ての約束について話しますよね。しかし、必ずしも目に見えるものではありません。つまり、私たちはそれらを知っていて、引用し、口にし、歌いさえします。ええ、私は...この曲は大好きです。何度も言うけど、カポノ、本当にありがとう。私の一日を首っただけにしてくれて。頭から離れませんが、良いことだと思います。”Soon and Very Soon (まもなく、もうまもなく♪)”ですよ。それを例に挙げて説明します。

♪”Soon and Very Soon (まもなく、もうまもなく♪)”♪

皆さん本当にそう信じていますか？ 本当にそれが起こると実感していますか？ 私たちが歌う歌だけでなく、暗記する聖句だけでなく、私たちが引用し繰り返すだけでなく、本当に、本当に、本当にそれが起こります。本当に。私は「本当に」と言いました？ 本当に、本当に、本当に。ええ。意味深ですね。ペテロはここでそう言っているのです。彼は、前章でイエスがハデス（よみ）に下り、悪霊と死に対して勝利を説かれたことを引き合いに出しています。しかし、その意味するところを理解していますか？ 私たちは、来たるべき裁きから救われています。なぜなら裁きが来るからです。本当にそれが起こります。それが私たちに影響を与えませんか？ それが人の見方に影響を与えるべきではないですか？



つまり、私たちが携挙で引き上げられ、取り残された人たちは人類史上最も恐ろしい 7 年間、言葉に出来ない恐怖に入ると本当に信じているなら、私たちが本当にそう信じていて、これから起こる裁きをかかっているなら、それが私たちにどんな影響を与えますか？ 私たちは長々と説明するつもりはありませんので、お付き合いください。

私たちは言います。「私は救われている。」かっこいい。何から？ そのことを立ち止まって、考えたことがありますか？ 私は永遠の地獄から救われています。お～！！それはちょっと一変させます。キリストを拒絶した世に下る神の御怒り、裁きから、私は救われています。私はそれから免れています。そして、それは本当に起こり、本当にやって来ます。誰だったか忘れてしまいましたけど、かなり生々しいですが非常に真実です。彼は架空の想像をします。「人を乗せて地獄の上空を簡単に飛び回ることができる。」それが起こります。その先に何が待ちうけているのかを垣間見て、それで何ができるか考えてください。それがあなたの考えを変えませんか？ 神は、私たちがまず心を変えない限り、私たちの心を変えることはできないと仰います。主は決して私たちにご自分を強いられません。でも、どうなのでしょう。救われていない人たちでなくても、クリスチャンを、期間限定で無料飛行に連れて行きましょう。私たちは何から免れる（救われている）のかを見てみましょう。どんな影響があるのでしょうか？ 私たちは、この今の世での苦しみの中で、私たちが待ち受けているのが永遠の命であることを忘れると、大きな過ちを犯すこととなります。そして、この今の世の苦しみは、待ち受ける栄光と比べものにもなりません。そう考えると、とてもありがたいと思うはずです。ちなみに「感謝する/Thank」の言葉の由来は「考える/Think」です。再度、「ピリピ人への手紙 4 章 6～8 節」考え、感謝すること。そう考えると、いかに感謝すべきかわかります。リストを順に見ていくだけです。大小問わず、感謝すべきこと全てを。これがリストトップにあるべきです。神よ、感謝します。今は必ずしも最前列ではありませんが、このような日が来ます。私はもうここにあると信じます。実はこれだけが問題です。

神よ、感謝します。私は救われています。それ（御怒り）を（永遠に）免れます。

そして最後の 1 つ、これで締めくくります。永遠に。永遠に。そこをしっかりと理解してください。あなたは決して死にません。あなたは完全な状態で、イエスと共に栄光のうちに永遠に生きます。

もう痛みはなく、もう悲しみはなく、もう死はなく、もう涙はありません。（黙示録 21：4）

私たちは、その（裁きの）全てから免れ、その全てから救われたのです。そう、今の苦しみは、75 年、仮に 80 年としましょうか。永遠と比べたら？ あなたが免れるものに比べたら？ その先に待ちうける栄光へ感謝するには、苦しみが必要なのかもしれませんが。

カポノ、上がってきてください。ご起立ください。祈りましょう。

愛する天のお父様。ある意味ありきたりな決まり文句ですが、主よ、あなたに心から感謝します。救いに感謝します。あなたが支払ってくださった贈り物永遠の命という贈り物に感謝します。この世に来たる裁きから、私たちが救ってくださることに感謝します。主よ、この世の苦しみは、私たちに永遠で待ち受けるものに比べれば、取るに足らないことを感謝します。主よ、今日ここにいる人、オンラインで見ている人のために祈ります。彼らは本当に大変な時を過ごしています。あなたは彼らの痛みを、彼らの心をご存知で、彼らの叫ぶ声を聞き、耳を傾けてくださいます。主よ、苦しみの中にいる彼らを励ましてくださいますように。あなただけがお出来になる通り、彼らの苦しみの中で、苦しみを通してあなたがしておられる事を彼らに思い出させてくださいますように。主よ、感謝します。イエス様、私たちはあなたを心から愛しています。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7